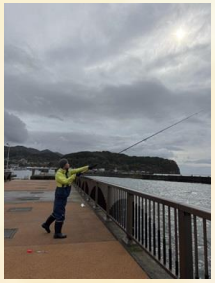
優翔館通信

第155号
R8年11月10日
作成

- 編集責任者 -
樋口　一成
- 作　成　者 -
樋口　一成



秋の味覚を入居者様にお届けしたい、でも高い。
そうだ、釣ろう！！！思い立ったが吉日、
鮭を釣りに白老に行きました。しかし
タイミング合わず、ぼうずでした・・・。
でも諦めません。あの手この手を駆使して
生の秋鮭を3尾ゲットしました！！













入居様に捌き方をご指南頂きながら
なんとか切り身にしました。10月16日、ホットプレートを出し
皆様の目の前で、野菜たっぷりちゃんちゃん焼きにして
ご賞味いただきました。お頭やアラは全て三平汁にして
頂き物のカボチャも炊いて、あんこと共にいただきました。
めちゃくちゃ美味しかった！というお言葉をたくさんいただき
素敵な秋の味覚イベントとなりました。

10月23日、ピノキオ保育園の園児が
仮装してサ高住にいたずらをしに来ました。
待ち構えていた入居者様からお菓子を貰い
いたずらしないで戻られました。入居者様も
園児も笑顔満点でほっこりした1日でした。











優翔館デイサービスセンターでは
紅葉狩りに近くの神社に行ったり
モエレ沼公園に出かけるなど
積極的に外に出かけております。

編集後記

平素より大変お世話になっております。また日頃より「優翔館」をご愛顧賜りまして誠にありがとうございます。ついに初雪が降り、入居者様と冬の訪れを感じている今日この頃です。当館では、10月1日より特定技能のミャンマー国籍の4人が入職されました。日本で介護を学んで技術を身に付けたいという思いが強く感じられ、真面目さと熱意のある4人です。ご来館の際には、声をかけて頂き日本語力の向上にお力添え頂けますと幸いです。ご面会は感染症に最大限の警戒をしつつ、居室でのご面会や外出等を行っていただいております。ご希望の方はご来館いただけますと幸いです。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

優翔館職員一同